

ウィンド・ミル

塚田南小学校だより

令和7年度学校評価特別号



風を受け、風を起こし、大きく力強くまわる風車 (WindMill) に願いを込めました。

先日は学校評価の回答にご協力いただきありがとうございました。保護者の方々からはご意見だけでなく、感謝や励ましの言葉をたくさんいただきました。ご意見は真摯に受け止め、来年度の学校運営に役立てていきます。

令和7年度学校評価(保護者)集計 在籍1,251名 回答699名 (%)

調査項目	肯定評価 4 + 3	前年度	平均
1 学校は、お便り・ホームページ、面談やメール配信等で学校の様子や家庭・地域への連絡をわかりやすく伝えている。	97.0	96.9	3.4
2 お子さんは、楽しく学校に通っている。	94.6	94.0	3.6
3 学校は教育活動(授業・行事)に工夫し、適切に行っている。	97.6	97.0	3.5
4 お子さんの学習態度(意欲的・主体的になど)に、学校での指導が生かされている。	86.8	85.4	3.2
5 お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	88.4	88.0	3.2
6 お子さんは、学習用端末(タブレット)を、ルールを守って使用し学習効果をあげている。(新設)	80.1	83.8	3.1
7 お子さんの生活態度(挨拶・思いやり・協力・決まりを守るなど)に、学校での指導が生かされている。	92.0	91.4	3.3
8 学校はいじめのない学校作り(アンケートや教育相談)に取り組み、悩みを相談しやすい体制がある。	92.3	92.0	3.3
9 学校は、お子さんの健康保持や体力向上に力を入れている。	94.0	94.4	3.4
10 学校は安全管理のため、校舎内外の環境整備、登下校指導に努めている。	97.3	97.5	3.6
11 学校はスクールカウンセラーや相談窓口の設定など、児童・保護者からの相談しやすい体制を整えている。	96.1	95.6	3.5
12 家庭では、親子のコミュニケーションを大切にしている。	99.3	99.3	3.7
13 保護者として学校での教育活動に興味をもち、登下校見守りなどのボランティア活動に参加している。	77.7	80.9	3.0

※4当てはまる 3やや当てはまる 2やや当てはまらない 1当てはまらない の4段階で評価する
肯定評価とは、4当てはまる 3やや当てはまる の合計割合

令和7年度学校評価(4~6学年児童)集計 在籍622名 回答597名 (%)

調査項目	肯定評価 4 + 3	前年度	平均
1 学校は楽しいです。	94.1	88.8	3.5
2 学習していることが身についています。	93.3	95.4	3.4
3 授業中は一生懸命勉強しています。	90.5	92.7	3.4
4 タブレットのルールを守って使い、学習に役立てています。	94.1	96.4	3.5
5 宿題をきちんとやっています。	86.6	89.5	3.4
6 家では、宿題でない勉強や読書もします。	73.5	81.9	3.1
7 友達に優しく、なかよく協力して過ごしています。	97.0	96.8	3.6
8 まわりの人にすすんであいさつをしています。	82.9	85.8	3.2
9 学校の決まりを守って過ごしています。	95.5	95.6	3.5
10 係や日直、委員会の仕事にすすんで取り組んでいます。	93.5	95.2	3.6
11 好き嫌いなく給食を食べています。	80.2	82.1	3.3
12 交通安全に気をつけて登下校しています。	96.1	96.6	3.7
13 すすんで外遊びや運動をして身体を動かしています。	77.1	74.1	3.2
14 授業はわかりやすいです。	93.6	92.2	3.5
15 先生は、よく話をきいてくれます。	91.3	92.0	3.5
(1, 2年生のみ) 外国語の授業に自分からすすんで参加しています。	85.5	82.0	3.2

・4月に行った6年生の全国学力・学習状況調査の結果では(12月号参照)、県・全国と比較して、国語科と算数科ともに高い正答率であり、学習指導要領の領域別・評価観点別・問題形式別のいずれにおいても全国平均を上回っていました。塚田南小学校では昨年度より国語科の研究を進めてまいりました。「読むこと」に焦点を合わせ、読む力を高めるための指導に力を入れてきました。その中で読書に親しむ機会を増やしてきました。今年度から図書ボランティアさんや図書委員会の児童による読み聞かせも実施してきました。来年度以降も国語科の研究を通して子供たちの言語活動の充実を図って参ります。また、これまでも児童が意欲的に参加できる「活動型学習」を意識してまいりました。児童評価項目と(2)と(14)にあるように、わかりやすい、学びに繋がる授業展開を心がけ、さらに子供たち一人一人の学力を伸ばし、学校でいきいきと学び、活動する姿をお伝えできるよう、今後も授業改善や実践、研究に努めていきます。

児童からの意見では「ICTを活用した学習活動が充実している。」「文章やプレゼンテーション資料を作成する力が身に付いている。」「ICTの活用が学習への意欲を高めたり、学習の理解を深めたりしている。」と、ICT機器の活用に肯定的な回答が多数ありました。引き続きICTを活用した効果的な学習の推進を図り、児童の興味・関心を引くだけでなく、意見の比較検討や個別学習を進めるなどの様々な場面でICT機器の積極的な活用を継続して参ります。

・保護者の方々からは学習用端末の適正運用について多数のご意見をいただきました。

昨年度同様に、特に低学年においては、日々の端末の持ち帰りに関してはランドセルが重くなってしまい負担

であるご意見をいただきました。今年度は学年の実態に応じて毎日持ち帰る必要のない教材の範囲を拡大し、週末のみの持ち帰りに移行するなど、身体的負担を考慮した運用をまいりました。今後も課題等で必要なもの以外の教材等は極力学校に置いて帰れるよう声をかけていきます。

その他には不適切な利用に関するご意見も頂戴しました。

持ち帰った端末で遊んでしまい管理が難しいとのことでした。

学校では有害なサイト等に関してはフィルタリングをかけていますが、全てのサイトを監視することはできません。ご家庭で利用時間の制限を設けるなどの対応にご協力をお願いいたします。

一人一台端末の家庭での利用制限方法については学校ホームページ内のコンテンツ「GIGA スクール構想」内の「一人一台端末の家庭での利用制限方法について」をご参照ください。

校内での不適切な使用に関しては、学校側でのフィルタリング設定の見直しと、情報モラル教育も行いながら、引き続き適切な利用について児童に指導していきます。

キーボード等の故障対応に関しては、学習の停滞を起こさないように総合教育センターと迅速にやり取りしておりますが、船橋市としての予算の関係で円滑に進まないことがあります。ご理解ください。

・学校からの連絡やお知らせ(メール配信)に関しては連絡手段の分散、フォーマットの見づらさに関してご意見をいただきました。今年度は情報の重複や見落としを防ぐために各学年からのお知らせを学校だよりに集約し、連絡手段の一元化と可能な限りのデジタルプラットフォームへの集約をまいりました。来年度も踏襲していきたいと考えています。PDF等の配付資料は、スマートフォンの画面でもなるべく拡大せずに読みやすいレイアウトを今後検討してまいります。行事案内等は、遅くとも一月ほど前までに配信し、保護者の方の仕事調整に配慮していきたいと思っております。

・登下校時の見守りに関してはこれまで通り毎日保護者の方に通学路の見守りを行っていただいております。通学路安全対策委員会の活動にご協力いただき大変助かっています。子供たちの意識(児童評価項目12)も高くはありますが、児童数に対して通学路が狭いだけでなく、自転車や自動車の往来も多くあります。保護者の方や地域の方々の見守り無くして日々の安心・安全な登下校は容易ではありません。引き続きご協力をよろしくをお願いいたします。

保護者の方の中には都合がつかなくなったり、お子さんが体調を崩しているため当番活動に参加できなったりすることを心苦しく思い、ご連絡をいただくことが増えてきました。事前にわかっている場合は保護者間で交代していただくことをお願いしていますが、前述の通りそれが難しい場合も考えられます。学校はあくまでも



[一人一台端末の家庭での利用制限方法について](#)

ご協力をいただいている立場ですので、当日の参加が急に難しくなった場合は、別日にご協力いただける範囲で見守りをお願いしています。

学校では引き続き安全教育に努めてまいります。

・来年度も音楽祭や6年生を送る会のリハーサルを公開し、学校にお越しいただく機会を継続します。保護者の方からは参観できる行事を増やして欲しい、行事の中身を充実させて欲しいとご意見がありましたが、学校規模を考えると難しいのが現状です。ご理解いただきたくお願いいたします。

・短縮日課における給食の提供に関して、給食の提供日を増やして欲しいとご意見をいただきました。本校では例年、卒業式を早めに設定し、以降は給食の提供をしておりませんでした。来年度より、卒業式を数日後ろにずらし、卒業式以降も可能な限り給食を提供し、給食の提供日を増やしてまいります。

来年度(令和8年度)の年間行事予定は2月20日に配信しております。また、学校ホームページからもダウンロードができるようになっております。

学校運営協議員の皆様より

- ・児童の自己評価「学校は楽しいです」の項目で、肯定的に回答している児童が9割以上いることは素晴らしいこと。保護者の回答を見ても学校に協力的な保護者が非常に多いと感じる。
- ・児童の回答から、家庭での学習習慣が身につけていないように見えるが、今の時代は家庭の中でやりたいことや、やらなければいけないことが多岐にわたっているように思う。
- ・大規模校だから校内で統一がされていないことよりも、大規模校だからこそ統一されていることの方が多くはないかと感じました。職員も幅広い年齢層の方がいらっしゃると思いますが、各教員がフォローし合える環境や体制づくりが重要かと思う。
- ・子供に時間を守らせるのであれば先生も授業時間を守り休憩時間の確保に努めて欲しい。
- ・挨拶に関してはご時世として知らない人に声をかけない、近づかないといった家庭での教育もあり難しい部分もあるかもしれない。そうであっても、子供と接する親御さんを含めた周りに居る大人から子供に対して日常的に挨拶をすることが大事である。
- ・学校からのお知らせが配信メール中心であることは、子供の伝え忘れがなくなり、確実に保護者に伝わるのが良い。



～学校運営協議会委員の皆様 ありがとうございます～